

平成30年度こんにやく原料需給実績

(単位:精粉20kg/袋)

項目 年度(H30.11~R1.10)	需 要 量 (消費量)	供 給 量					期末在荷量
		期初在荷量	国内生産量		輸入量	供給量合計	
			生産量	春切り量			
計算式	a=f-g	b:前年実績	c:実績	d:前年並	e:実績	f=b+c+d+e	g:注2参照
原料(国内・輸入)数量実績 (前年度実績)	256,100 290,700	212,400 197,500	246,100 286,600	5,000 5,000	9,400 14,000	472,900 503,100	216,800 212,400
製品 輸入数量実績 (前年度実績)	23,700 28,900	0 0	0 0	0 0	23,700 28,900	23,700 28,900	0 0
合計 (前年度実績)	279,800 319,600	212,400 197,500	246,100 286,600	5,000 5,000	33,100 42,900	496,600 532,000	216,800 212,400
前年比(%)	87.5%	107.5%	85.9%	100.0%	77.2%	93.3%	102.1%

注1)ラウンドしているため加減があわないことがある。

注2)算出方法は以下のとおり。なお、算出方法は各年度に必要な見直しを行い21年度まで遡って再計算しているため過去の発表数値とは連続しない。

- ①原料需要量は、製造業者のサンプル調査より求めた買入量比使用率を、製造業者買入量推計値に乗じて256,100袋とした。
- ②期初在荷量は、⑥と同様の方法で算出した29年度の期末在荷量212,400袋とした。
- ③生産量は、平成30年産生産量(55,900トン)から算出(55,900×1,000×歩留(8.806%)÷20kg=246,100)し、246,100袋とした。
- ④春切り量は、平成30年度需給計画と同じ5,000袋とした。
- ⑤原料輸入量は、1次関税枠(34.4トン)及び2次関税枠(153.4トン)の輸入量(187.8トン)から算出(187.8×1,000÷20kg=9,390袋)し、9,400袋とした。
- ⑥期末在荷量は、供給量合計(472,900袋)から需要量(256,100袋)を引いて216,800袋とした。
また、在荷量の増減を計算することによっても同様に216,800袋となる。
- ⑦製品輸入数量は、輸入量(15,637トン)から、精粉換算(製品倍率33倍)で算出(15,637×1,000÷33÷20kg=23,692袋)し、23,700袋とした。